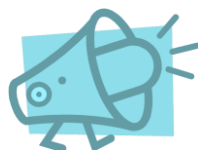


八王子市子どもすこやか宣言普及啓発事業

平成25年度 子ども意見発表会



八王子市子ども家庭部

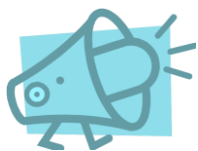


も く じ

子ども企画委員長のあいさつ	2
1. 「八王子市子どもすこやか宣言」と「子どもの権利条約」	3
2. 子ども意見発表会の開催への取り組み	4
3. 子ども企画委員会の経緯	7
4. 学生リーダーの関わり	9
・学生リーダー全体研修会	
・アンケート調査実施	
・各児童館での意見発表会	
・子ども意見発表会と子どもランド	
5. 各児童館の活動報告	11
6. 当日の様子（報告会）	31
7. 当日の様子（子どもランド）	34
8. 子どもたちの意見を市の計画へ	36
9. 子どもたちの提案	37
10. 関係機関・団体との連携・協力について	39
11. 子ども企画委員名簿	40

資料

子ども意見発表会事業「こどもによる意見発表の会」アンケート



子ども企画委員長のあいさつ

1年間の活動を振り返って

こんにちは。子ども企画委員長の尾崎 菜々子です。

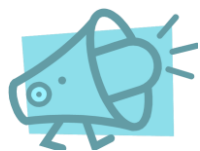
私たちは、日頃から児童館をバント練習や友だちとのおしゃべりなどで利用しています。今回、子ども企画委員の募集の話を聞いて申し込めました。はじめは、どのように進んでいくのか正直分からないうちに、委員長を決めることになりました。一緒に参加している友だちも含め、私たちが最年長の高校1年生であり、委員長に立候補をしました。10箇所の児童館で募集した企画委員は最終的に39名集まり、第1回子ども企画員会全体会で初めて顔を合わせて、いろいろな意見交換をしました。

その後、より多くの子どもたちから意見を集めるために自分たちでアンケートを作成しました。このアンケート調査は子どもたちが子どもたちから集めました。また、子ども企画委員が中心になって学生リーダーや地域の方々にもお手伝いをいただき、結果4,776枚のアンケートを集めることができました。私たちはこのアンケートをもとに、意見発表を市長・教育長に向けて行いました。

1年間という長い期間でしたが、私なりに精一杯頑張りました。私たちは、子どもの意見から、私たちのまちがよりよいものになっていくことを願っています。

平成26年

子ども企画委員長



1. 「八王子市子どもすこやか宣言」と

「子どもの権利条約」

「未来を担う子どもたちがみんな幸せに、そして責任ある大人になってもらいたい」「自然がたくさんある八王子で生き活きと生活し、自分の可能性を伸ばして欲しい」「周りの人と信頼し合える関係を大切にし、健康で個性豊かに成長して欲しい」というのは、私たちの共通の願いです。

この願いを明文化し世界中の子どもが持っている権利を守る規範として、国連では「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」が平成元年（1989年）に採択され、日本でも平成6年（1994年）にこれを批准しました。ここでいう権利とは「人権」のことであり、人間としての尊厳を持つ社会の一員として扱われるべきであるという意味です。

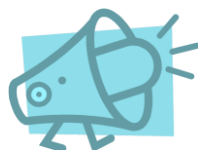
八王子市では「子どもの権利条約」の考え方を取り入れながら、平成13年（2001年）2月に「八王子市子どもすこやか宣言」を行いました。

そして、平成13年度から平成19年度まで実施した「子ども会議」、平成20年度に実施した「子ども議会」、平成21年度から平成24年度まで実施した「子どもミーティング」、平成25年度から実施している「子ども意見発表会」といった活動を通して、こうした考え方を広く市民の皆さんに知っていただく取り組みを行ってきました。

八王子市子どもすこやか宣言

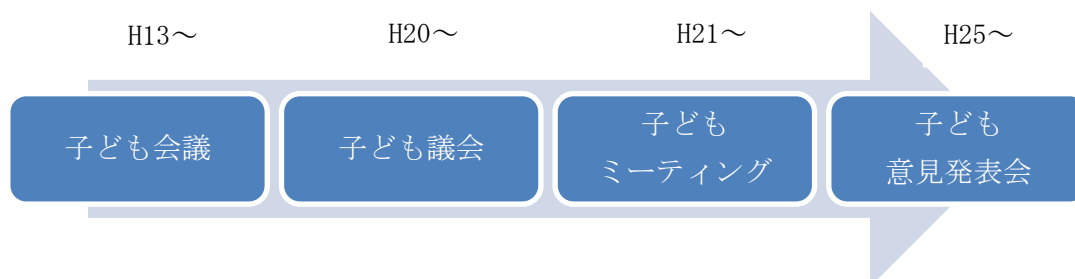
- 1 わたしたちは、人にはみんな違いがあり、みんなよいところをもっていることを認めお互いに相手を尊重します。
- 1 わたしたちは、がまんすることの大切さを理解するとともに、好きなことに夢をもち元気にくらしします。
- 1 わたしたちは、しっかりと自分を表現し、自分の意見や行動に責任をもちます。
- 1 わたしたちは、子どもたち一人ひとりが大切にされ、安心して生活できる家庭を望みます。
- 1 わたしたちは、家庭や学校そして地域で学習する楽しさがわかり、自分の可能性を伸ばすことのできる環境を求めます。

平成13年2月4日 八王子市



2. 子ども意見発表会の開催への取り組み

1. 子ども意見発表会への歩み



平成13年9月に『八王子市子どもすこやか宣言』の普及啓発事業として「子ども会議」を開催しました。「子どもの意見表明権」を具体化するために、子どもが「主体的に活動に参加できる機会を確保」することを目的としていました。「普段自分がいろいろなことに対して考えていることや思っていることを自由に発表してもらおう」というコンセプトで、小学生の部と中高生の部に分かれて開催しました。

翌年、平成14年から6年間は、児童館職員がコーディネートをし、市内を4つのブロックに分け、「わたしたち、ぼくたちの考えるまちづくり」をテーマに、理想の学校や地域を考え、新聞やマップを作りました。

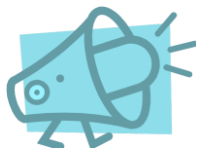
平成16年度のテーマは「遊び」でした。昔遊びや集団遊びなどを体験しながら、子どもと大人で意見交換をしました。この年から「子ども会議」には地域の方々が加わり「子ども会議の地域版」となり、「子どもと大人が同じテーマ、同じ目線で話をする」という形となり、子どもの意見を大人が受け止める、大人の話が子どもが聞くという、当たり前のように、とても難しかった第一歩が踏み出されました。

平成17年度からは、子どもと大人との関わりをさらに深め、「子ども実行委員会」「大人実行委員会」による「子ども会議」の形式となりました。子どもは自分たちの考えを実現するため、大人は子どもの企画を支えるため、協力して「里山遊び体験」「夢まちマップ」「まちかどアンケート」に取り組みました。

平成18年度は「遊び、遊び場について考えよう」をテーマに、市民協働の公園づくりへ参加するなど、まちづくりの視点をさらに進める取り組みを行いました。

そして、平成19年度には、子どもの活動を支援する学生サポーターと子どもたちが「地域子ども新聞社」として、それぞれの地域について調査活動を行い、記事を書き、新聞を作成しました。この地域子ども新聞は、翌20年度に実施した子ども議会の子どもの議員が地域を知るための情報として活用されました。

また、この活動の参加者からステップアップして、子ども議員となった子どももいました。



子ども意見発表会



平成20年度は、こども政策課（現子どものしあわせ課）が、平成21年度に策定した八王子市こども育成計画後期計画へ子どもの意見を反映させるために、学習会を重ねた子ども議員が市長へ提言書を提出する「子ども議会」を開催しました。学生サポーターは、子どもを支援するための「ファシリテーターの役割」や「意見構築のためのワークショップ技法」の研修を受けて、子どもが発表する意見づくりに携わるようになりました。

平成21年度から4年間は、子どものしあわせ課が、「環境」「農業と食」「浅川」「防災」と毎年テーマを設け、子どもが学習し市長と意見を交わす「子どもミーティング」を開催しました。その中で平成23.24年度は、児童館職員が学生サポーターの研修担当、事業のアドバイスやコーディネートに努めてきました。

平成25年度からは、事業全体を児童館がコーディネートし、再び地域での開催となりました。子どもが意見を表明する機会の提供とともに、子どもの意見を活かしたまちづくりを目指し、子どもの意見を市に提言する仕組みとして「子ども意見発表会」を開催しました。

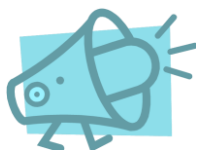
子ども企画委員が考え、「こどもによる意見発表の会アンケート」（以下、「アンケート」と表記する。）を作成し、児童館や学校、地域で子どもに対してアンケート調査を行いました。そして、その結果をもとに各児童館で、子ども企画委員を中心に意見交換やミーティングを行い、その報告、検討を各児童館の子ども企画委員が一同に会する「子ども企画委員全体会」で行ってきました。1年間という継続的な取り組みを経た子どもたちの意見を、市長や教育長、市民の方々に報告する「子ども意見発表会 報告会」、そして子どもたちの意見を子どもたちに公開するイベント「子どもランド」を開催しました。

2. 児童館が子ども意見発表会に関わる理由

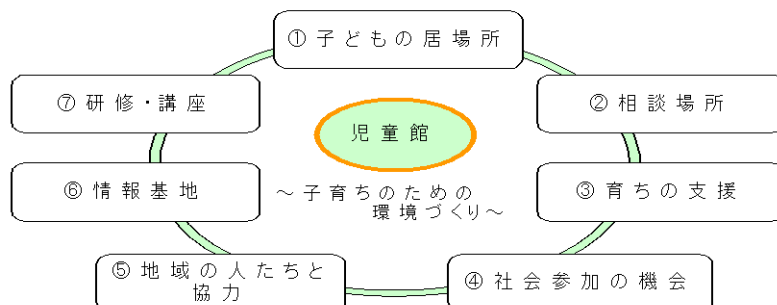
子どもの参画を推進する際のキーワードは「子どもの主体性」です。子どもが主体的に運営や行事に企画段階から関わるのが重要です。

児童館は、子どもの自由な遊び場です。遊びは、自発的・自主的な活動です。どんなことをするのか、いつ始めるのか、自分で考え決めることができます。だからこそ意欲的になり、楽しいものです。ちょっと困難があっても工夫して乗り越えようと思います。自分で決め、自分で活動し、責任をとる。このことは自己決定力を育て、自立の第一歩につながります。参画に関わることの基礎には、豊かな遊びの経験があるといえます。それは、遊びを通して、様々な事柄に関して興味・関心を示し、意欲的に取り組もうとする態度が養われるからです。子どもの主体的な遊びを保障する児童館だからこそ、子どもの参画を推進する場に適していると考えます。（児童健全育成推進財団発行：「じどうかん あそびの宝島」から引用）

児童館は、子どもたち自らが、問題や課題を解決したり、自主的な企画をしたりする子ども実行委員活動を行っています。



児童館の機能と役割



子どもの居場所機能
遊びを通しての**健全育成**
地域の**子育て支援**
子育てのためのコーディネート
思春期の子どもたちの支援

16

この子ども実行委員活動は、子どもの意見を受け入れ、子ども自身が準備や当日の運営を皆で話し合いながら取り組む活動です。実行委員活動は、児童館の地域ネットワーク力により、子どもたちを地域の大人とつなげ、地域に広がり、子ども自身が地域づくりに参画していく可能性が大きくなります。

子どもの意見を受け入れながら地域の大人と子どもを結び付け、地域の関係機関や大人のネットワークを推進してきた児童館の実績が活かされることとなります。

児童館では、日常活動の中に子どもの意見表明権への配慮や取り組みがあるため、子どもの自由な意見を大人が受け止めやすいのです。

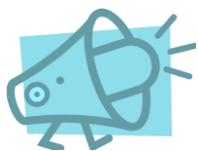
3. 八王子市の子ども意見発表会の特徴

①地域の大人がかかわる仕組みの存在

②子どもの継続的かつ日常的な活動

③学生リーダーの育成

八王子市の子ども意見発表会は、①地域の大人がかかわる仕組みの存在②子どもの継続的かつ日常的な活動③学生リーダーの育成という、3つの特徴があります。児童館を拠点に地域で子どもを育てる仕組みと学園都市八王子の学生がこの事業に取り組む仕組みがあります。



子ども意見発表会



3. 子ども企画委員会の経緯

4. 子ども企画委員会の募集

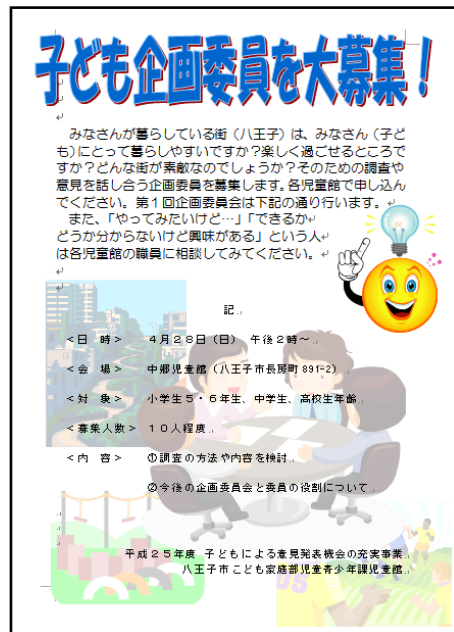
各児童館で募集を行いました。興味を持った小学生から高校生まで、多くの子どもたちが申込みをしてくれました。

5. 第1回子ども企画委員会

平成25年4月28日（日）

中郷児童館会議室 委員15名参加

集まった委員たちに「八王子市子ども育成計画」の説明を行った後に、まちづくりの意見を子どもたちから集めるためにアンケートを作成することになりました。各グループに分かれ、聞きたいアンケート項目や質問内容を検討しました。委員会の最後には委員長・副委員長を決めました。



6. アンケート作成

委員長・副委員長を中心にアンケートの原案づくりを行いました。たくさん出てきた質問項目を委員長中心に精査して、各児童館の子ども企画委員と連絡を取り合い「アンケート」が完成しました。

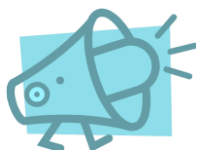
7. 各児童館でアンケート調査活動

出来上がったアンケートを使い各児童館の子ども企画委員が調査を行いました。大人や学校に調査をお願いするのではなく、「子どもたちが子どもたちに」をキーワードに、自分たちで調査を進めました。

アンケートに自分で書くことができない、読み取れない低学年には、子ども企画委員や学生リーダーが丁寧に説明して答えてもらいました。もちろん児童館を利用する子どもたちにもアンケート調査を実施しました。高校生の子ども企画委員は出身中学校を訪ねて、趣旨を説明した上で了承を得て、夏休みのクラブ活動ごとにアンケート調査のお願いにも歩き回りました。

また近隣の学童保育所に出向いて調査をしたり、地域の清掃活動に参加した後にアンケート調査をしたりと、様々な活動を行うことでより多くの子どもたちから意見を集めることができました。

アンケート調査が想定以上に行えたため、アンケートの追加印刷も行いました。



子ども意見発表会



8. 第2回子ども企画委員会

平成25年11月24日（日） 市民体育館会議室

子ども企画委員 17人参加

アンケート調査の結果を報告

各児童館でのアンケート調査の状況を各児童館の子ども企画委員に報告してもらいました。その後、集まったアンケートの集計結果を報告し、今後各児童館で行う子ども意見発表会についての説明も行いました。

9. 第3回子ども企画委員会

平成26年3月15日（土） 市役所201会議室

各児童館で実施した「子ども意見発表会」の様子を報告してもらいました。例えば、児童館に来館している小学生に向けてアンケート調査の報告を行った、地域の大人の集まる会議の場で報告をしたりと、各児童館の様々な活動が報告されました。

また、市長・教育長に向けた「子ども意見発表会」の最終準備として、各自、発表原稿を片手に、子ども企画委員みんなの前で発表の練習を行いました。その後も各児童館に戻って本番に向けた原稿の修正と練習を繰り返し行いました。

子ども企画委員会ニュースを発行（5部）

子ども企画委員会ニュース!

平成25年6月15日 子ども企画委員会委員長

アンケート開始!!

みんなで作ったアンケート!!
完成しました!!
いよいよ、アンケート開始!!
小・中・高・大のみんなに、アンケートを配るつもりで、
楽しみに待っています!!

では各館、アンケートの回収を
お願いします!!
頑張ってください!!

北野児童館子ども企画委員の打ち合わせ。

元気!!

知ってもらうために……
名刺もつくろうと思います。
そのデザインをみんなで作ろう!!
ということ、レインボウを思い浮かべて
考えておきましょう!!

6月中旬!!

子ども企画委員

児童館発表より……
各館はみんなの企画ではなく「子ども企画委員」が
よいから考えています。みんなが使える企画です。

沢山アンケートをとろう
とおもいます!!
by 北野

子ども企画委員会ニュース! №2

平成25年7月22日 子ども企画委員会委員長

別冊が完成しました!!
各館に配るため、別冊にまとめておきました!!

子ども企画委員会
「北野児童館子ども企画委員の会」
子ども企画委員
大塚児童館
大塚児童館子ども企画委員の会
大塚児童館子ども企画委員の会

リレー競争中に、42枚のアンケートがとれました!!

暑いです!!

暑い中、みんな頑張ってリレー活動をやりました。1st
その後、みんなみんなアンケートを書いてくれました。
アンケートを書いてくれた小・中学生、ありがとう!!

暑かったですね。

アンケート調査をしてみよう……

アンケートを実施して「児童館の利用について」をききます。
という質問で「小学生(低学年)」の子から利用して「なんでもか
んがえ」が聞かれました。小学生(低学年)の子には「なんでもか
んがえ」が聞かれました。北野児童館では、毎日かかっています。アンケート
も取っています。

他の館でもがんばってください。

子ども企画委員会ニュース! №3

平成25年8月17日 子ども企画委員会委員長

別冊を受けました!!

みんな(金)に北野児童館の委員はみんなの代表として
取材を受けました。
こんな質問をされました!!

金銭委員をやっている、やりがいあります。
おかげさまで、おかげさまで!!

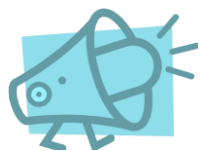
アンケート

全館情報は、現在、
小学校低学年 313枚
小学校高学年 266枚
中学生 614枚
高校生 127枚
合計は1344枚となりました。

北野児童館では、近所の中学校の部活動に2回
アンケートを配り、回収しています。
今後は、106枚配っています。
夏休み中に、回収しています。
各館、アンケート回収、頑張ってください!!

お礼の印刷、ありがとうございました。
おかげさまで、ありがとうございます。
楽しみにしています!!

子ども企画委員
大塚児童館
大塚児童館子ども企画委員の会
大塚児童館子ども企画委員の会



子ども意見発表会



4. 学生リーダーの関わり



10. 学生リーダー全体研修会（5月～）

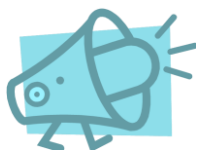


子どもの支援をしている学生サポーターは、子どもを支援するために全体研修と各児童館でのOJT（実際に活動しながら、各児童館職員から研修指導を受ける）を受け、子どもの意見発表や意見表明が進む支援を行いました。

全体研修会では、①子どもの権利について②子どもの意見表明権について③八王子市すこやか宣言について④八王子市子ども育成計画について⑤これまでの子ども意見発表会の取り組みについて⑥子どもとの関わり方について研修を実施しました。

学生リーダー名簿

	氏名	大学（大学院・専門学校）
1	山田 侑香	帝京大学
2	井上 瑞人	帝京大学
3	菊池 愛里	明星大学
4	松村 公平	明星大学
5	長縄 修平	明星大学
6	土屋 大輔	明星大学
7	狩野 慧一郎	帝京大学
8	志間 遼太	工学院大学
9	石貫 千尋	創価大学
10	鉄池 清美	創価大学
11	吉田 正恵	創価大学
12	馬場 雄太郎	法政大学
13	西野 広樹	首都大学
14	雨宮 夏菜海	東洋大学
15	長谷川 耀一	帝京大学
16	田中 亜紗美	町田福祉保育専門学校
17	小澤 良佑	明星大学
18	河村 昌代	創価大学
19	小林 蓮	創価大学
20	軽部 孝司	都立拓真高等学校
21	牛山 奈緒	明星大学



子ども意見発表会



11. アンケート調査実施（6月～11月）



各児童館での子どものアンケート調査を支援し、子どもの意見を引き出しやすい環境を整え、声かけや見守りを行いました。このほか、各児童館近隣の小学校や学童保育所、児童館のまつり会場でアンケート調査を行いました。

アンケート調査を行う際は、学生リーダーは、回答を聞くだけではなく、子どもの意見表明権を意識し、子どもの意見について受容する姿勢を持って取り組みました。

また、広域の子どもの意見を聞くために、みなみ野地域の小中学校へ出向き、ホームルームの時間等で、学生リーダーが児童、生徒にアンケート調査を実施しました。

12. 各児童館での意見発表会

各児童館で、子ども企画委員が中心となって児童館を利用する子どもたちにアンケートの検証結果の報告や意見交換を行いました。活動の中で学生リーダーが、子ども企画委員や参加した子どもの意見発表が活発になるように支援をしていきました。



「アンケート全体の数字と、この児童館の数字の差が激しいと報告してくれました。この地域に住む皆さんは、企画委員の意見についてどう思うかな？」
「どのようなまちになればいいと思う？」など、学生リーダーが、子どもの意見を引き出しながら進めました。中野児童館では、ワークショップを行いながら、多くの意見をまとめていきました。

13. 子ども意見発表会と子どもランド



3月21日に、市長と教育長と市民の方々へ、子ども企画委員がアンケートの検証結果を報告する「子ども意見発表会 報告会」と子どもたちに取り組みの報告をする「子どもランド」を実施しました。学生リーダーも21名中16名が参加し、意見発表やパネル展示で説明をする子ども企画委員の支援をしました。